GX Creation Meeting 2026

BE WILD！粋なまちづくりのための「生まれる」をつくる創造性
REGENERATIVE CREATIVITY

近藤ヒデノリ
UNIVERSITY of CREATIVITY
サステナビリティフィールドディレクター



近藤ヒデノリ

UNIVERSITY OF CREATIVITY（UoC）
サステナビリティフィールドディレクター
リジェネラティブプロデューサー、・ART FARM IKEJIRI 共同創設者

企業・自治体・地域のブランディング、商品開発・出版・メディア開発を経て、UoC創設に参加。
「リジェネラティブ・クリエイティビティ」を掲げて、持続可能な社会を生む創造性の研究・教育・社会実装を行う

1994年博報堂入社後、CMプランナーを経てNYU/ICP修士課程で写真と現代美術を学び、9.11を機に復職。クリエイティブ・ディレクターとして企業、自治体、地域のブランディング、商品・メディア開発に携わり、2020年から創造性の研究機関、UNIVERSITY of CREATIVITYのディレクターに就任。近年は「リジェネラティブ・クリエイティビティー」を軸に持続可能な社会・文化を再生する創造性の研究・社会実装を行っている。監修・共著に『Urban Farming Life』『都会からはじまる新しい生き方のデザイン』『INNOVATION DESIGN』等。地域共生の家KYODO HOUSE主宰。グッドデザイン賞審査員（仕組み・活動部門・システムデザイン部門・地域社会デザイン）をはじめ審査員・講演・メディア出演多数。

▶CO-CREATION/RESEARCH

UNIVERSITY of CREATIVITY

Tokyo Urban Farming
Re-generative Lifedesign in Cities

ART FARM IKEJIRI

Circular Creativity Lab.



GX League



▶PUBLICATION













▶LOCAL PROJECTS/PLATFORM

Local.Biz
－日本の未来を、ローカルからつくる－

FUTURE +DESIGN

cultra
culture + travel

未来を変える買い物を。
EARTH MALL

ふるセタ
FURUSATO is SETAGAYA.
ふるさと納税は、我らが世田谷へ。







▶TVCM/BRANDING









2020年 赤坂に開校した、
博報堂による越領域の創造性の
教育・研究・社会実装を行う研究機関。

UoC Philosophy



すべてのニンゲンは、
生まれながらにして創造的である。

プラネタリーバウンダリー

自然の原理原則

多様性　循環性

Sustainability

持続可能性

正しさ

ワクワクさせる

面白くする

手触り

楽しくする

見方を変える

間違える

はみだす

Creativity

創造性

共感性

生きる歓び

粋

効率性より
美意識を。

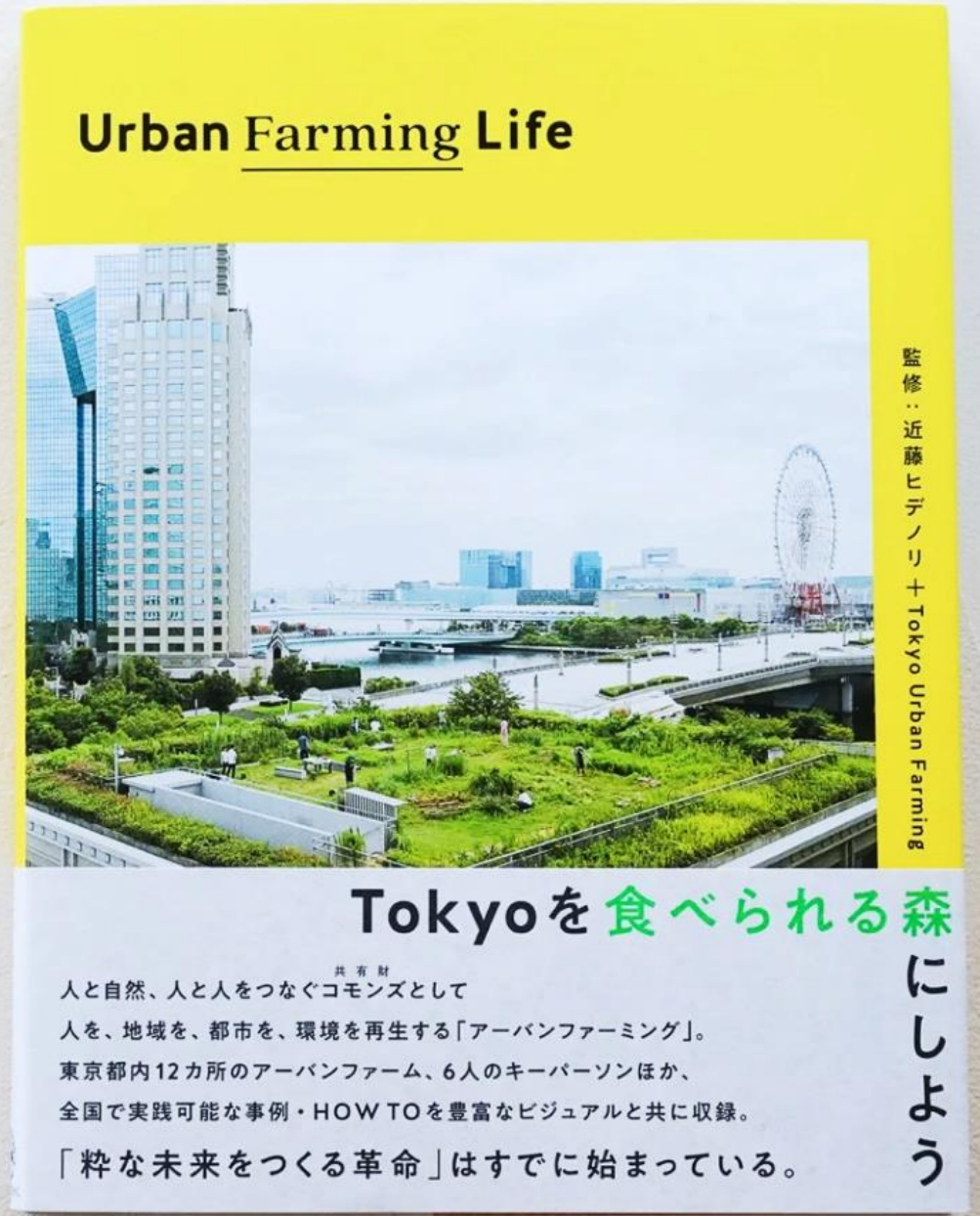
Tokyoを食べられる森にしよう

Tokyo
Urban
Farming

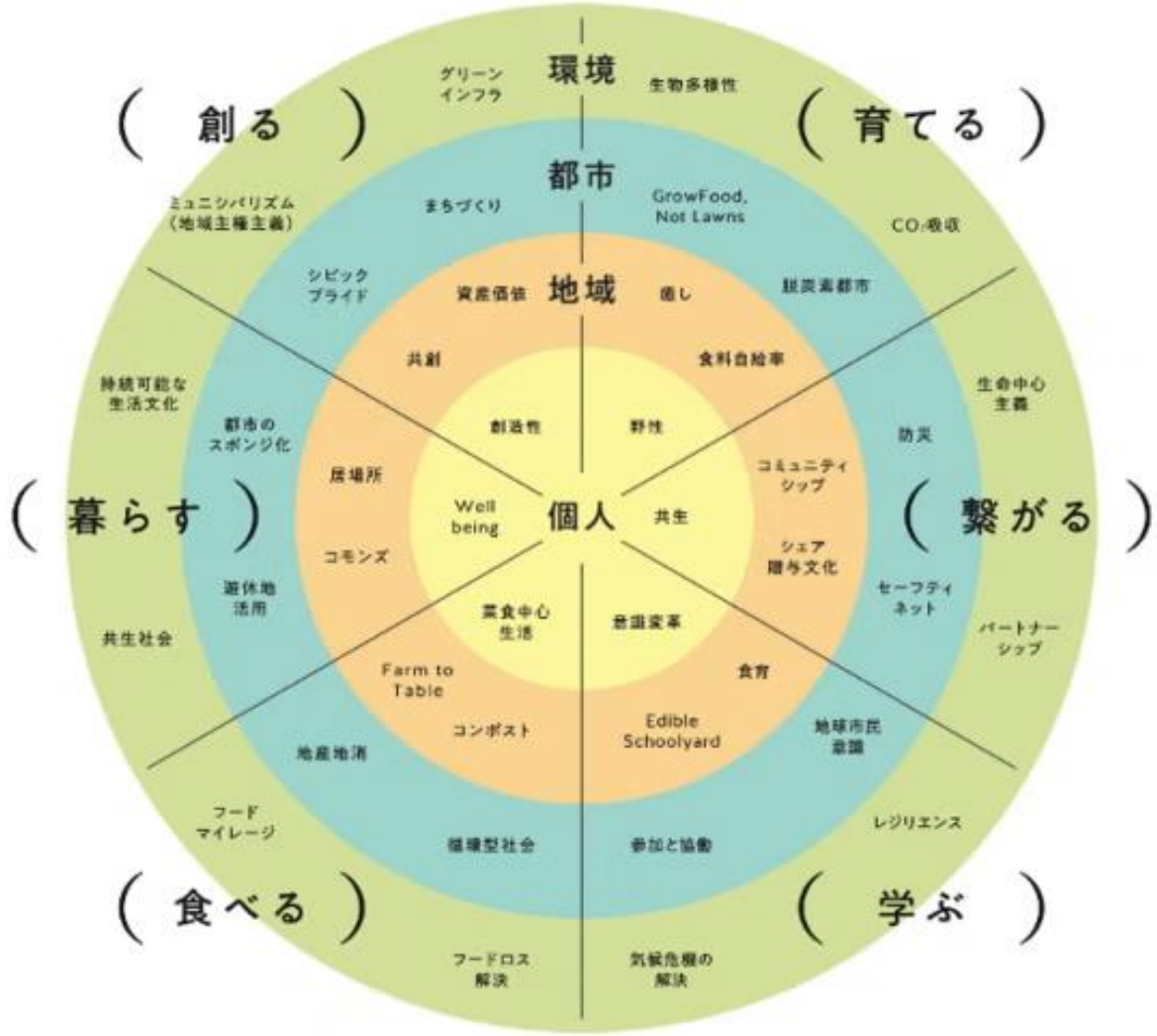
Re-generative Lifedesign
in Cities

人、地域、都市、環境を「再生」する
都市のリジェネラティブ（再生型）なライフスタイルの普及をめざす
オープンプラットフォーム発足。

書籍『Urban Farming Life 』出版



アーバンファーミング6つの役割
『Urban Farming Life』より



東京ビエンナーレ2023「TOKYO ART FARM」開催



アートを通じて
「東京の食と農の未来」を
五感で感じ、育てる祭典

"WE ARE WHAT WE EAT"
Alice Waters

私たちは今、大きな分岐点にいる。
気候危機、生物多様性など様々な地球規模の課題を抱えるなかで、
これからの都市のライフスタイルはどうあるべきなのか？
私たちはこれから何を食べ、どう暮らしていけばいいのか？
TOKYO ART FARMは、人と自然、農と食、生産者と消費者をつなぎ、
多様な生命の共創から新たな循環を生み出し、
都市の粋でリジェネラティブ（再生型）な
ライフスタイルを育てていくことを目指します。

近藤ヒデノリ（UNIVERSITY of CREATIVITY）

TOKYO ART FARM

アートを通じて「東京の食と農の未来」を五感で感じ、育てる40日間の祭典



Long Table：山本稜（Spicy Architects）、東京理科大学理工学部建築学科　西田司研究室、大野航輔（リトル・ツリ



諏訪綾子（food creation）
タリスマンを受け取るリチュアル












ART
FARM
IKEJIRI
2025年、池尻中学校跡地「HOME/WORK VILLAGE」屋上に、コミュニティファームをOPEN！

都会で人と自然がつながる
サードプレイス

ART FARM IKEJIRIは、旧池尻中学校跡地に誕生した複合施設「HOME/WORK VILLAGE」屋上にみんなで創るルーフトップファームです。仲間と共に野菜や果物、ハーブ、花を育てたり、空を眺めてぼーっとしたり、週末にはマルシェやワークショップ、アートイベントを楽しんだり、自ら開催もできます。
そこは都会の屋上にみんなでつくる新しい"里山"。人と自然が共創する多様なART（技術）から循環を生み、人・地域・都市・環境を再生する粋な文化を育てるFARM（農園／育てる）でありコモンズ・実験場です。









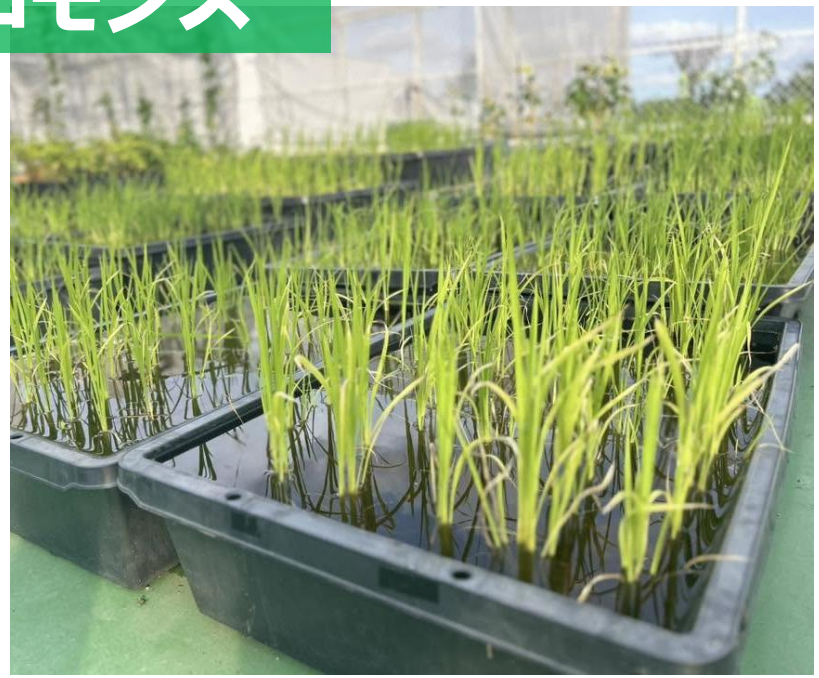






共に創ることで学ぶ、開かれたコモンズ









東京⇔千葉鴨川
「二拠点暮らし」





都市と里・海・山の循環・再生を目指して





こうした活動の元になっていた
「リジェネラティブ（再生）」という考え方を、
より広く、ビジネス、まちづくりにも活かせる
方法論として拡張できないか？

AI時代の創造力はどこへ
創造性ゼミ
UNIVERSITY of CREATIVITY

#AI時代の地球環境

AI時代の
リジェネラティブ・クリエイティビティ

～循環と再生で都市に“一石N鳥”を生む創造性とテクノロジー～


Earth hacks
関根澄人


東京建物
沢田 明大


Synflux
川崎 和也


中川政七商店
羽端 大


TSU-GUMY
小山 ひろみ


BIOTA
伊藤 光平


ASTRA FOOD PLAN
加納 千裕


遲美フーズ
渡会 一仁


Spacewasp
瀬戸口 稜二


N-ARK
田崎 有城


Code for Japan
川邊 悠紀


UoCプロデューサー
牧川 織大


UoCディレクター
和泉 舞


UoCディレクター
近藤 ヒデノリ

AI時代の創造力はどこへ
創造性ゼミ
UNIVERSITY of CREATIVITY

UNIVERSITY of CREATIVITY

リジェネラティブ・クリエイティビティ

「つくって終わり」から、「生まれる」をつくる創造性へ


株式会社 SANU
上野 澄人


株式会社 wondertrunk&co
岡本 岳大


Umios 株式会社
佐藤 雄介


株式会社 Mizkan
田中 保憲


JR東日本ビルディング
中島 秀典


株式会社 ゴールドウイン
押本 有里子


株式会社 百間
和泉 佳奈子


UoC ディレクター
近藤 ヒデノリ

隔週・全6回プログラム

2026年10月開講

受講生募集中！

「クリエイティビティ」って？

創造の「前提」の2つの大変化

①生成AIの急速な発展

AIが高速でつくる時代に、人間はこれから何をつくるのか？

②気候危機（人新世）

無闇に「つくりすぎた社会」に、人は何を、どうつくるべきなのか？

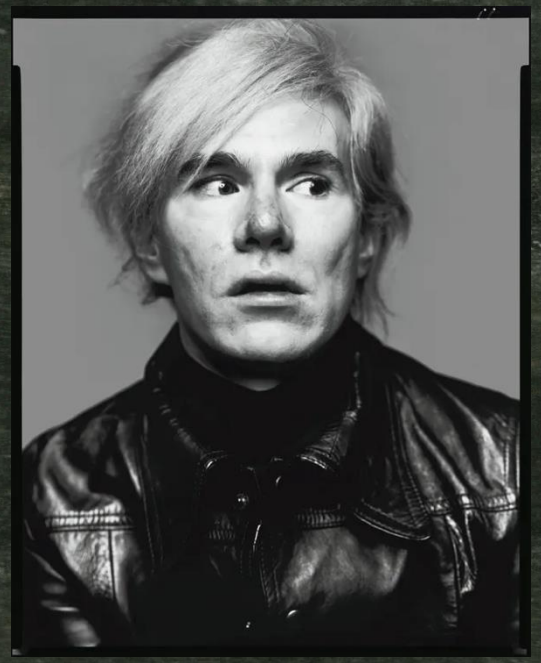
「私たちは、これから何を、どうつくるべきなのか？」
人間の創造性が問い直されている

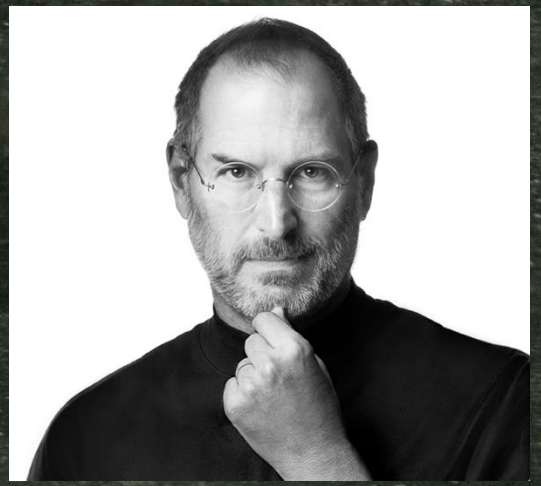
「天才神話」?











I→WE

「複雑な問題」が多いからこそ、一人や一社では解決できない。
人間だけでなく、すべての生き物を含めて、
「私」から、「私たち」による「私たちのための」共創へ。

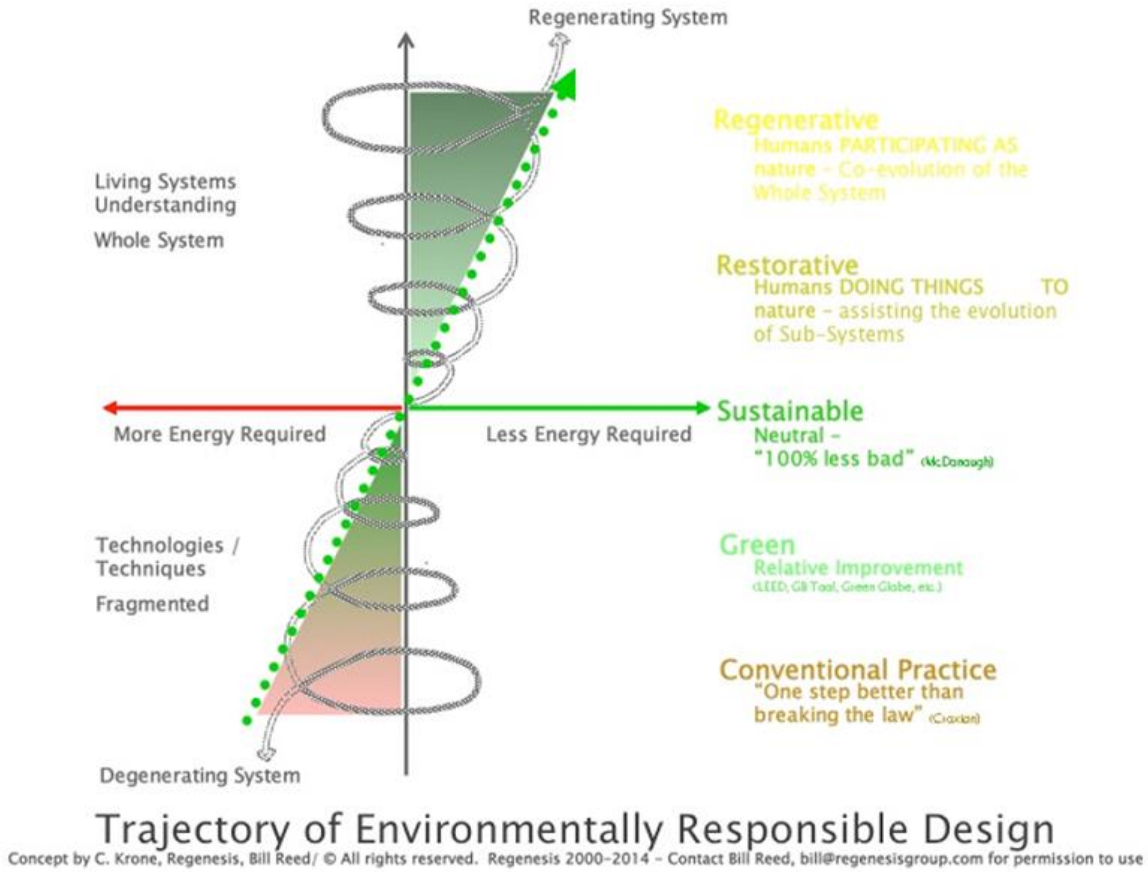

3.5％の人々が非暴力的な方法で本気で立ち上がると社会が大きく変わる
（ハーヴァード大学政治学者エリカ・チェノウェスらの研究）
3.5％

「生まれる」をつくる創造性
REGENERATIVE CREATIVITY

従来の人間中心で「つくって終わり」ではなく、
自然の生成力・創造性・テクノロジーを生かして
人、地域、社会、文化、環境を再生し、
「一石N鳥」を生み続ける生命論的創造性。

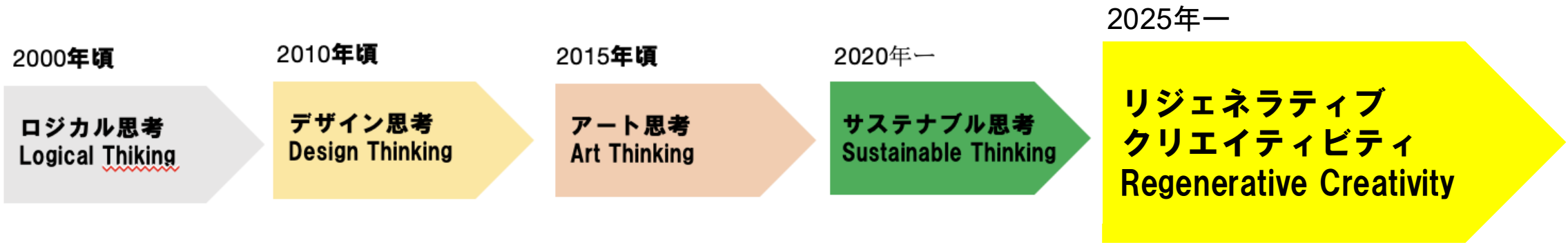
リジェネラティブとは？

「regenerate」の語源は、「re−（再び）」と「generate（生む）」に由来し、「再生、再生成」の意。
現状維持を意味する「サステナブル」の先にある、人が全体システムの共進化に参加し、プラス（ネットポジティブ）を生み出す概念。



•Regenerative：
人が自然の一部として全体システムの共進化に
•参加し、プラスを生み出す
•Restorative：
人が自然のサブシステムの進化を補助する
•Sustainable：
マイナスを0にする現状維持の活動
•Green：
従来型実践よりは相対的に改善した状態
（一般的にはここから“エコ”だと言われ始める）
•Conventional Practice：
“違法一歩手前”の従来型実践

ビジネスにおける思考の歴史



理性中心 → 理性＋感性 → 人間＋環境 → マルチスピーシーズ（人・環境・AI）

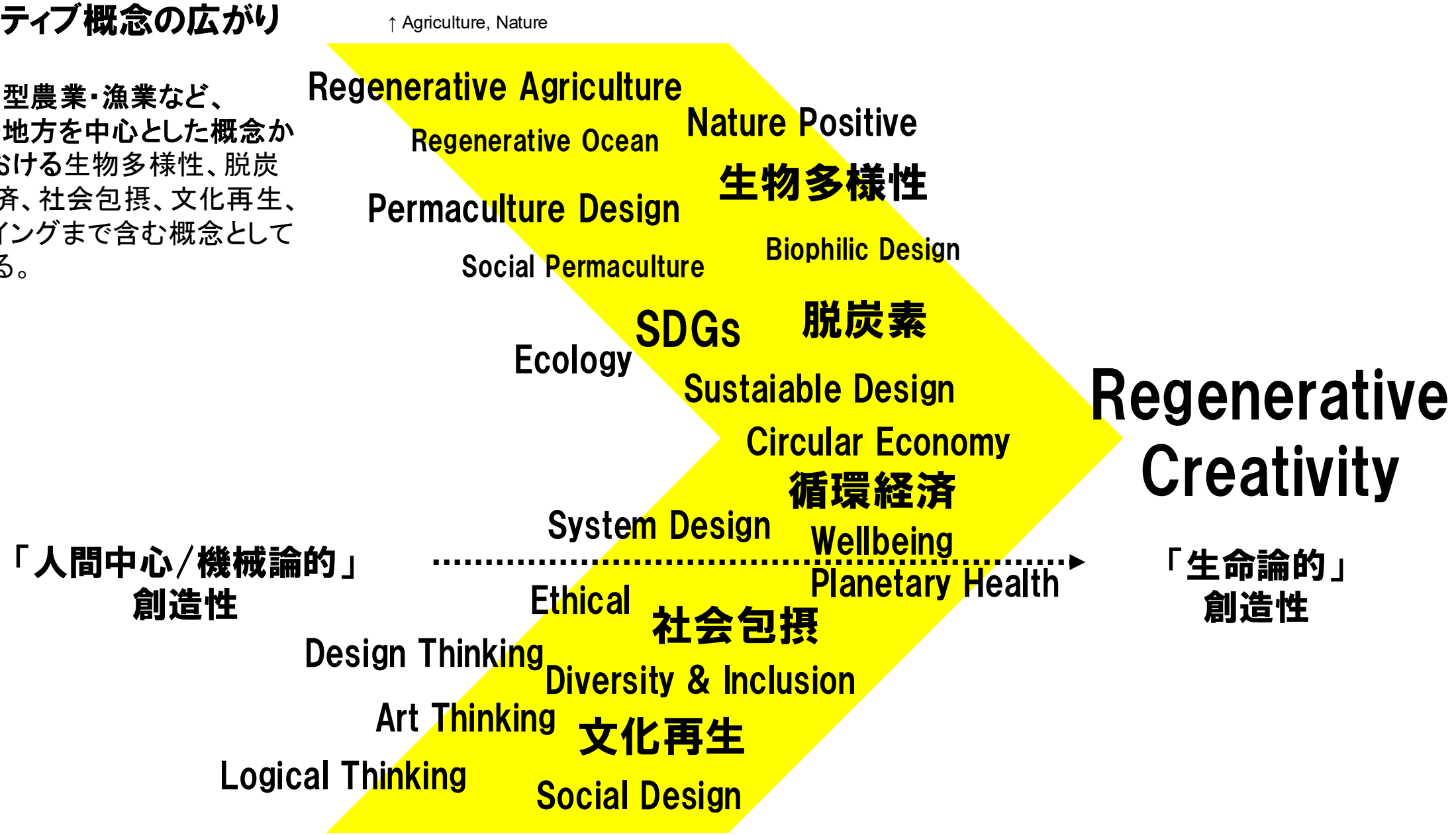
マーケット中心 → 生態系の維持（マイナス→ゼロ） → 創造性と自然と技術の生成力による再生（ネットプラス）

経済成長 → 持続可能性 → 脱炭素・生物多様性・循環経済・社会的包摂（一石N鳥）

人間中心･機械論的世界観 → 生命論的世界観

リジェネラティブ概念の広がり

従来の再生型農業・漁業など、一次産業や地方を中心とした概念から、都市における生物多様性、脱炭素、循環経済、社会包摂、文化再生、ウェルビーイングまで含む概念として広がっている。





現代のルネッサンス

人と人、人と自然の分断を超えた
「すべての生きものの中の人間（生命）復興）」

「私たち」：あらゆる生きものはたった１個の祖先細胞から38億年かけて進化してきた
ー中村佳子（生命誌研究者）

生命誌絵巻、「「私たち生きものの中の私」として生きるー生命誌の観点から」より

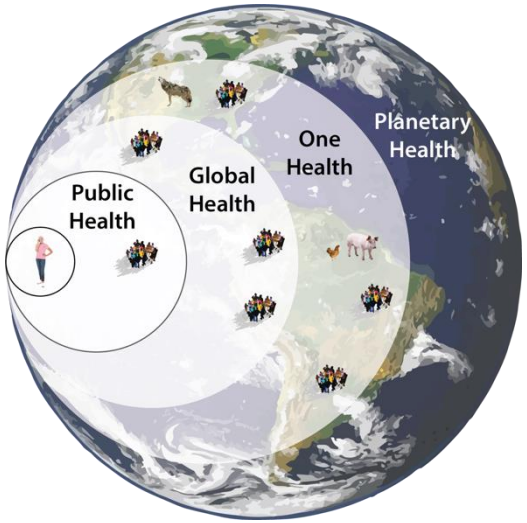
リジェネラティブ・クリエイティビティで目指すのは、



環境省「第六次環境基本計画」より

一石N鳥
（共進化/同時再生）

**人も、社会も、経済も、環境も、文化も、
同時に再生する「一石N鳥」を目指す。**



Planetary health recognizes the health of the planet as a system.
Eric Marty

参考：東京建物「Regenerative City Tokyo」

●リジェネレーションとは、コストや制約ではなく、新しい市場・雇用・イノベーションを生む「成長ドライバー」

●「win-winではなく、win-win-win」 3つ以上の多元的価値の共創を目指している

●人の楽しさや文化、社会の再生を入口に、生産と循環した創造、環境を再生成。



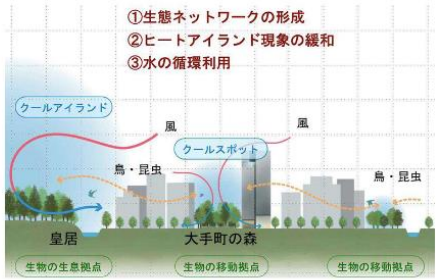
大手町の森
東京建物

日本経済の中心である大手町に
郷土の森を育み、風と緑と土と水
り恵みで、都市を再生しながら、
自然環境を再生する再開発プロ
ジェクトとして誕生。

事前に千葉に育成したプレフォレ
ストでの**徹底した観察**から「粗密」
「異齢」「混交」を設計指針に森を
設計し、都市に失われた**生物多
様性と水循環を回復。**

2023年に「自然共生サイト」に認
定されるなど複数アクターとの共
創により、**働く人・地域・生態系の
価値を同時に生む「一石N鳥」の
場であり、イベントの開催や敷地
内のホテルのブランド価値向上、
入居率への貢献など「稼ぐ森」で
もある。**







参考：メガソーラー問題と「逆・一石N鳥」

逆・一石N鳥

- 森林・自然破壊
- 生物多様性減少
- 土砂崩れの危険増
- 農作物への悪影響
- お金の地域外流出
- 地域の魅力減

・
・
・

千葉・鴨川市“日本最大級”メガソーラー建設　地元住民からは不安の声　約60回の行政指導後に“誤伐採”で工事は一時停止に　国は規制強化の方針【news23】



東京ドーム約32個分（約146ヘクタール）の広大な森林を切り開く大規模な開発であり、許可外の伐採や土砂災害への懸念から強い反対や行政指導が行われている。

参考：水戸ホーリーホック「GXプロジェクト/ソーラーシェアリング事業」

一石N鳥

- 耕作放棄地再生
- 生物多様性増
- 電気と野菜の地産地消
- お金・エネルギーの地域内循環
- 教育・交流の場

Jリーグ・サッカークラブ、
地元企業、専門企業
地域自治体、市民サポーターなど

「WE」による「新しい景色」





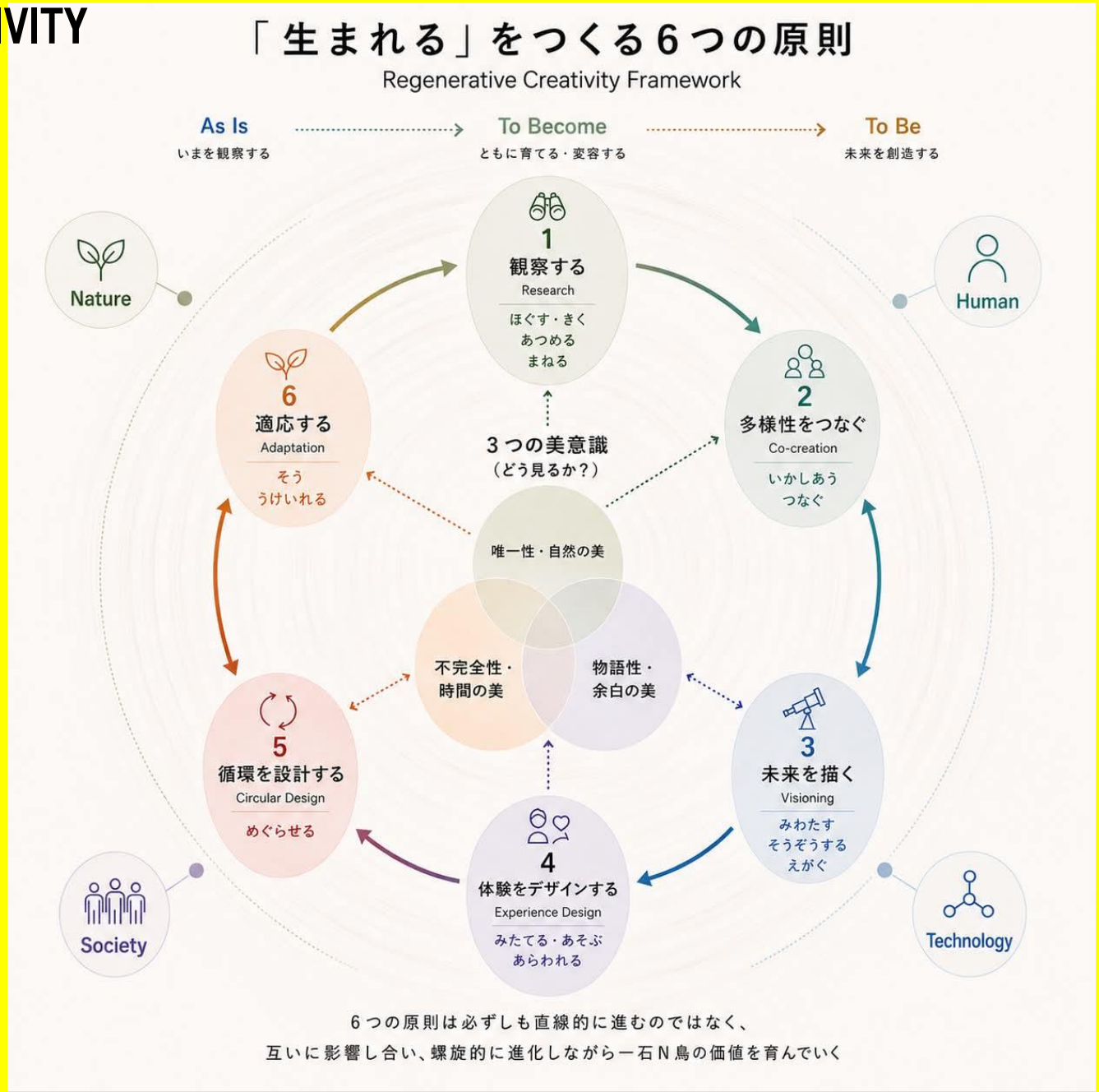






REGENERATIVE CREATIVITY Framework

３つの美意識
６つの原則



多様性をつなぐ

【いかしあう・つなぐ】

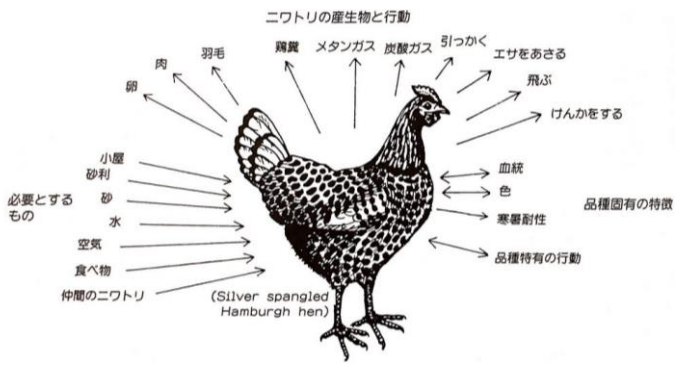
多様性は創造性と持続可能性の源。
複雑な問題を解決し、「一石N鳥」を生み出すには共創が不可欠である。

一見ネガティブに見えるのも含め、多様な資源・資本が活かし合い、創発を通じて新たな価値を生み出すような関係性をつくる。森のように相互に活かし合う自律分散的な関係性が持続可能性をもたらす。

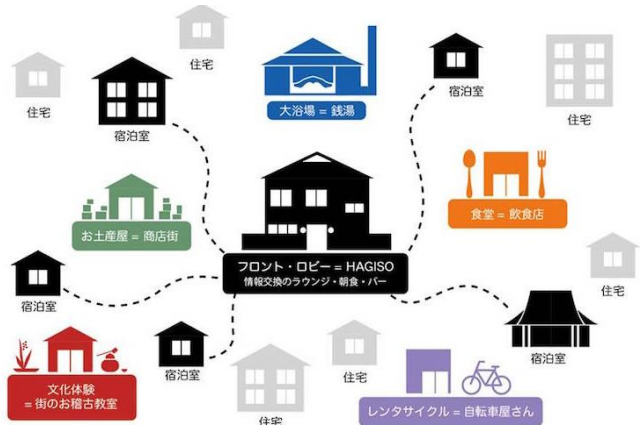
▸大切な美意識・マインドセット
唯一性・不完全性・自然の美



山崎 繭加「花を聴く、相手を聴く」ワークショップ, UoC



「Permacuture Design Guide」より



HAGISOの資料より

Regenerative Case Study

【都市農園】

多様な人、生き物のスキル・資源を活かす都市の「里山」

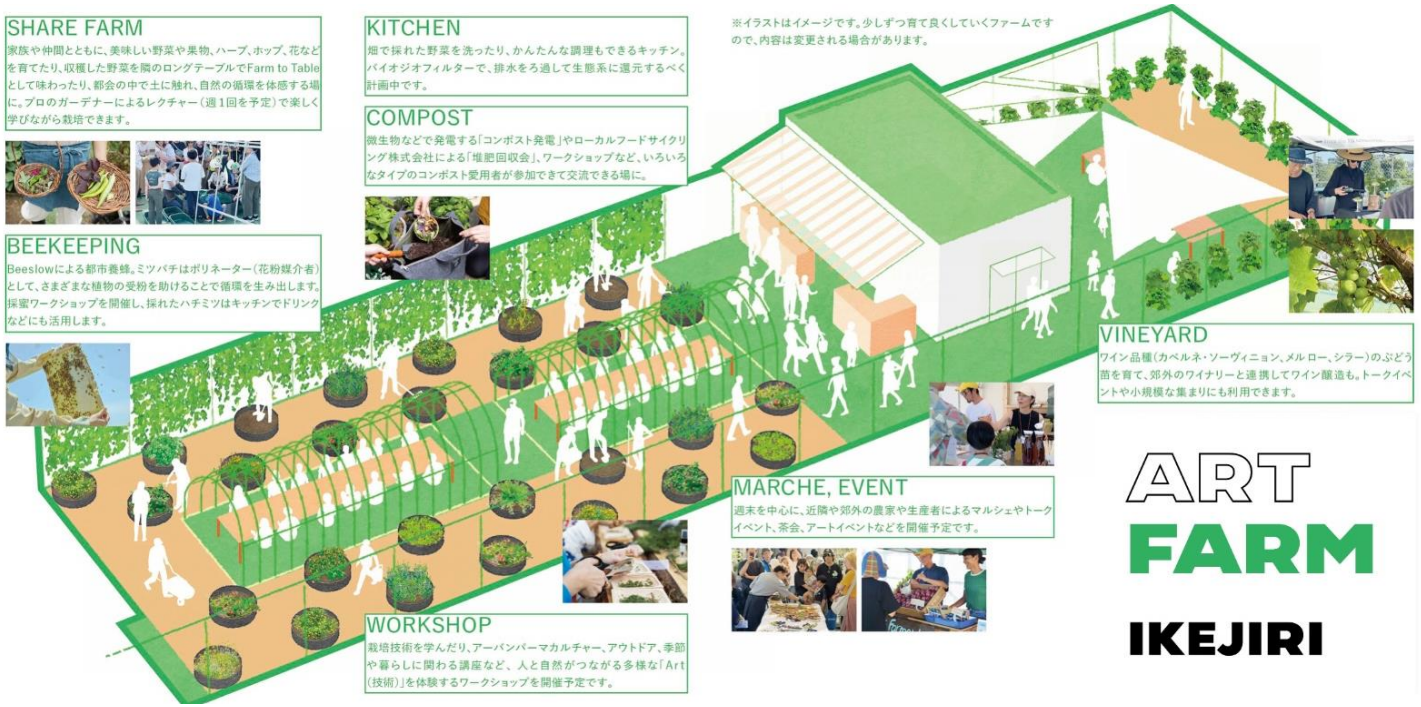
ART FARM IKEJIRI

東京・池尻

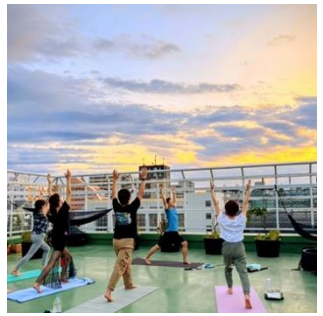
ART FARM IKEJIRIは**「都会で人と自然がつながるサードプレイス」**という理念のもと、屋上農園・アート・カフェ・学び・地域循環が融合した都市型コミュニティファーム。

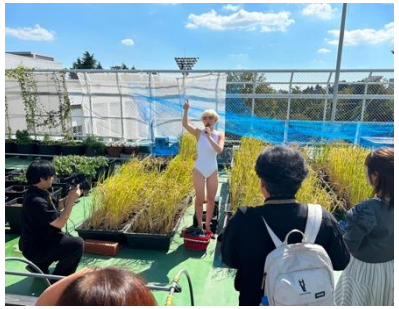
屋上という余白を活かした”都市の里山”に見立て、畑を耕すだけでなく、養蜂やコンポスト発電他、多様なワークショップやイベント、対話の場として機能している。

ファーム内と館内、地域、地方の**多様な循環を生む**と同時に、気候変動や生物多様性への**意識を育む学びの場**としても、**一石N鳥**な場となることを目指している。











（参考）BIOTA 資料より

都市に必要な「微生物多様性」
空間を野生化させ生態系を拡張する「Re-Wilding」

生態系を拡張させるための「介入」

手つかずだと、一つの種類の木ばかりが増えて日照条件が悪くなり、下層の植物が育たなくなることがある。そこに人**が介入し、適度に間引いたり、系統的に多様な植物を植えること**
でより多様な生態系が生まれ、土壌中の微生物多様性も高まる。





体験をデザインする

【みたてる・あそぶ・あらわれる】

正しさだけでなく、人間だけがもつ遊びや楽しさ、物語性が共感を生む。

日本古来の「**見立て**」により、そこにあるものを**別のものになぞらえたり、重ね合わせることで新たな意味や物語を生み出す**。

共感と参加を生むための「境界域」と「余白」を大切に、主体的な創造性と創発を引き出すツールや仕組み、体験をつくることで持続可能な活動につなげる。

▸大切な美意識・レンズ
物語性・余白の美



IKEBUKURO LIVING LOOP



枯山水に見る「見立て」



VUILD

Regenerative Case Study

【まちづくり】

柄の悪い公共空間→「まちなかリビング」に見立て

池袋リビングループ

池袋リビングループは、「まちなかをリビングのように使いこなす」という**見立て**の発想で、**市民・企業・行政・アーティストなど多様な主体が協働**し、公共空間再生の社会実験プロジェクト。

グリーン大通りを中心に**都市の余白**としての公共空間にマーケット、アート、音楽、トークイベント、地域食の屋台など、多様な活動が街路空間に展開。

「暮らし・仕事・遊び・学び」をゆるやかに**循環**させ、**一石N鳥**を生む都市のライフループとして、2017年から継続的に進化している。









Regenerative Case Study

Coppen hill

Copenhagen, Denmark

廃棄物発電所という産業施設を**「都市の丘」に見立てた公共レクリエーションセンターとして再生。**
設計のBIGが提唱する「ヘドニスティック・サステナビリティ（快楽主義的持続可能性）」という原則のもと、持続可能性をという義務ではなく、**多様な都市生活の質の向上と喜び**と結びつけ、人工スキーゲレンデ、ハイキングコース、クライミングウォールなどを設置し、楽しい都市体験と融合。
屋上公園には300本の樹木を含む約400種の植物が植えられ、地域の**生物多様性を高め、社会的喜び**など**「一石N鳥」**を実現させている。

廃棄物発電所→「都市の丘」に見立て



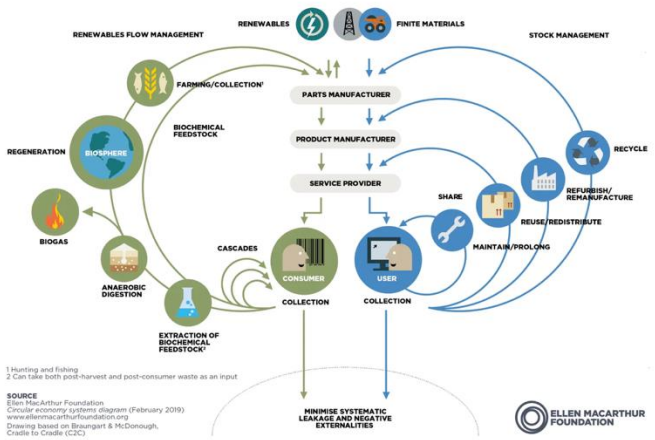
循環性を設計する

【めぐらせる】

直線的な生産・消費・廃棄モデルは資源枯渇と環境負荷を生む。循環する仕組みを設計することで、持続可能性と再生性を担保できる。

できるだけ廃棄物と汚染を生まない再生可能な資源を使い、なるべく小さな範囲で人、モノ、エネルギー、知識、感情が循環する仕組みや生態系を設計する。

▸大切な美意識・マインドセット
自然の美・時間の美



The butterfly diagram, Ellen Macarthur Foundation



WA, Akasaki & Vanhuyse



Local Food Cycling, LFCコンポスト



Yuima Nakazato

Regenerative Case Study

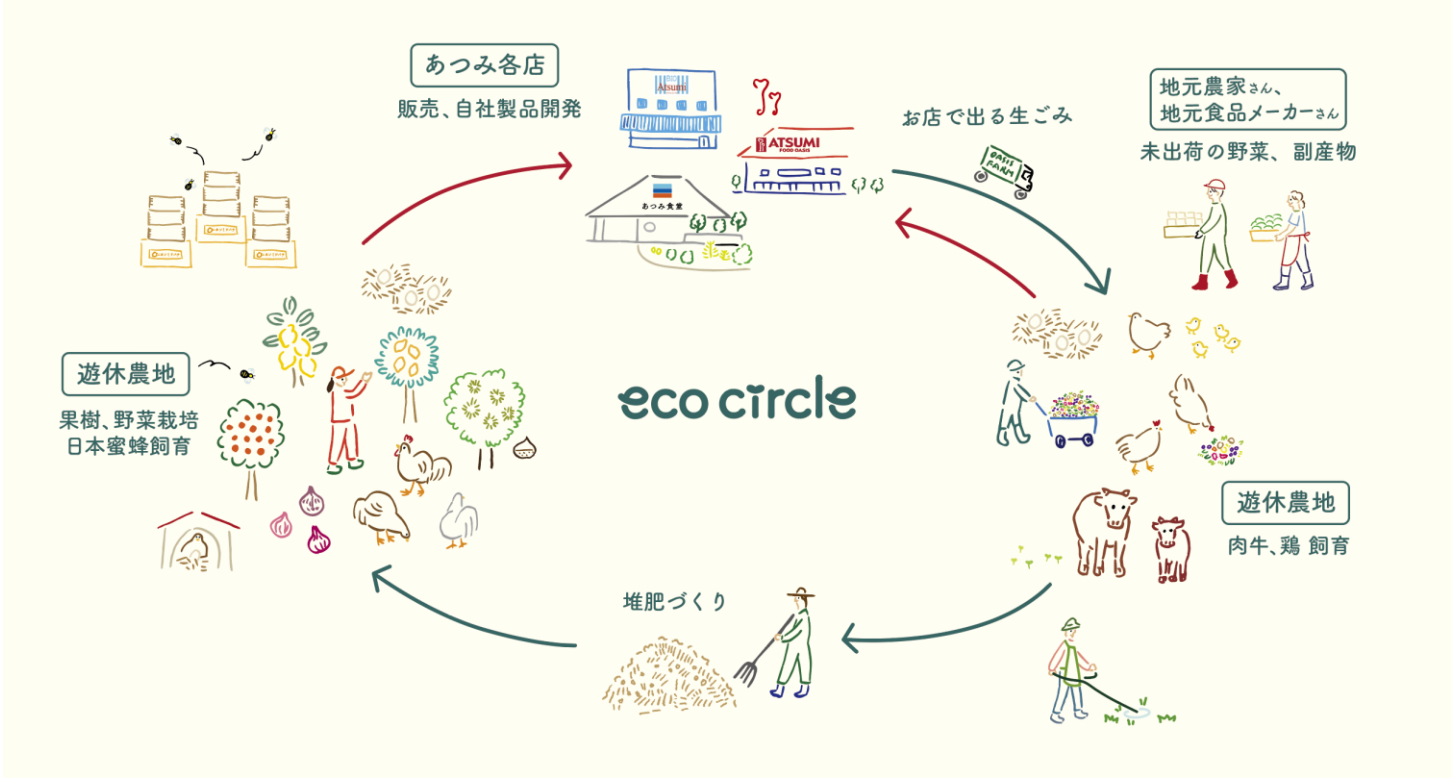
【流通・食】

廃棄食材を飼料に循環を生み、耕作放棄地を続々再生

渥美フーズ「エコサークル」

渥美フーズの「エコサークル」は、食品製造や販売を「消費の終点」ではなく「**循環の一部**」と捉える**全体・長期視点**から、お店で出る**生ゴミや地元食品メーカーの未利用食材などを耕作放棄地を活用して、堆肥化**するだけでなく、**果樹、野菜栽培、畜産を通じた自社製品を開発、販売することで、都市と地域をつなぎ、再生する生態系**をつくりだしている。

スーパー、取引先生産者、メーカー、社員・地域住民・消費者など**多様なステークホルダーの協働**により、**自然・人・地域の循環を再生**するリジェネラティブな取り組み。











これまで会ってきた、
GXやサステナビリティを実践する
すばらしい人々に共通すること

共通するのは、持続的な

「本気度／ヘンタイ性」

プラネタリーバウンダリー

自然の原理原則

多様性　循環性

Sustainability

持続可能性

正しさ

ワクワクさせる

面白くする

手触り

楽しくする

見方を変える

間違える

はみだす

Creativity

創造性

共感性

生きる歓び

粋

効率性より
美意識を。



ご清聴ありがとうございました！

BE WILD！

「本気度／ヘンタイ性」で、
まちを粋に再生して行きましょう！

近藤ヒデノリ

Hidenori.kondo@hakuhodo.co.jp